

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

くまもとの木とイ草の香り漂う家

グループの名称

ひご木の家づくりネットワーク

直近採択グループ番号

04-0624-0696

(グループ代表者)

代表者名

佐藤 圭一郎

代表者印

代表者所属先

肥後木材株式会社

代表者所在地

熊本県熊本市東区平山町2986-11

代表者電話番号

096-389-0022

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 住

事務局担当者名

森 秀仁

印

事務局郵便番号

814-0165

事務局所在地

福岡県福岡市早良区次郎丸

事務局電話番号

092-205-2200

事務局FAX

092-205-2201

事務局担当者E-mail

jyu@jcom.home.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		9	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	9	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		3	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		7	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	7	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0	棟	/					
			0	m ²						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	未経験施工店を優先に配分。その後、申請確定な物件に配分する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くまもとの木とイ草の香り漂う家	(地域型住宅供給対象地域) 九州内
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ひご木の家づくりネットワーク	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0624-0696	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	<ul style="list-style-type: none"> 全てのサッシにLOW-Eガラスを使用する。 省エネ等級4以上若しくは省エネ基準をクリアする。 全てのサッシに樹脂サッシを使用する。(玄関ドアはK2同等以上を推奨する。) 住宅版BELSIにて★3以上取得する。 壁量を建築基準法の1.5倍以上とする。 	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県産木材をふんだんに使用した住宅とする。 日本一の生産高を誇る「くまもと畳表」を使用した住宅とする。 台風対策として瓦、コロンアルはビス止めとする。 	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	<ul style="list-style-type: none"> 内装材(天井・壁・床)に熊本県産木材を3坪以上使用する。 屋根の1面に対して、軒の出を600mm以上確保する。 	◎
④①～③の背景	<ul style="list-style-type: none"> 気候は県内全域が太平洋側気候に属し温暖だが、冬と夏で寒暑の差が激しい。冬の気温は緯度の割には寒冷である。 熊本県は、降水量が多い事でも有名で、常に全国1・2位を争う雨量の多さになっています。これは東シナ海からの暖かく湿った空気のせいで、大雨や集中豪雨が発生しやすい為です。 熊本県の森林面積の約60%が人工林である。その素材生産量は平成27年度でヒノキ 188千㎡全国4位 スギ 678千㎡全国4位となっている。 熊本県におけるい業の歴史は古く、八代地方を中心に宇城・球磨地方でめざましい発展をとげ、今日では日本一の生産高を誇る「くまもと畳表」の生産地に成長した。 平成28年4月14日、4月16日に熊本県熊本地方を震央とする震度7の『熊本地震』が発生し、その後余震が数多く続いた。 	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 間柱の厚みを外周部のみ45mmで統一する。 内装材に使用する熊本県産木材はグループの指定する商品とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ネダレスを使用する。(2階のみ)	◎
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達のコラボ	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材はグループにて一括購入を行う。 内装材に使用する熊本県産木材はグループにて一括購入を行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材および内装材をグループにて一括購入することで、情報が集約されて発注事務が合理化できる。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 生産合理化委員会を流通事業者を中心に設置している。年2回以上開催	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 生産状況・適正価格・納期・品質・安定供給などを検証する。その情報をグループ代表にてグループ構成員に配信する。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: フラット35の仕様書を基に、施工基準を設けている。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場にて、出荷証明書書を基に、エンドユーザー様と共に木材の確認をする。 グループ専用の共通チェックシートにより、エンドユーザー様と共に竣工検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通見積書を作成し、使用する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: PRグッズを作成し、施工事業者を主に活用する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くまもの木とイ草の香り漂う家	(地域型住宅供給対象地域) 九州内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひご木の家づくりネットワーク	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0624-0696	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報蓄積を義務化とし、第三者機関に保管する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループが推奨する第三者機関へ登録する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 登録証等の写しを事務局に報告	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンスチェックリストを作成する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修箇所及び補修方法をまとめる。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修箇所及び補修方法を事務局に報告する。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: イベント開催時に実施する。年1回程度開催	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ代表により開催 年3回以上開催	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者を主体として、設置済み。年2回以上開催。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員より住まいの管理に関する冊子等を配布する。	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の施工事業者が倒産廃業等の場合は、グループ代表がグループ施工事業者と協議の上、紹介を行う。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険機関と協力し、年1回以上開催	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネの研修会等を開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・フラット35の仕様書を基に、施工基準を設けている。 ・グループ専用の共通チェックシートにより、エンドユーザー様と共に竣工検査を行う。 ・断熱材検査を省エネ技術講習会修了者が行う。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ専用の共通チェックシートを事務局に提出する。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ代表が定期的に施工事業者の受注等を確認し、需給計画を立てる。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験施工事業者の為に現場見学会を開催や性能向上計画認定住宅やゼロ・エネルギー住宅の講習会を開催する。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 10	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 10	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より、講習日・会場等をグループ構成員に配信する。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くまもとの木とイ草の香り漂う家	(地域型住宅供給対象地域) 九州内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひご木の家づくりネットワーク	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0624-0696	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	◎
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くまもとの木とイ草の香り漂う家	(地域型住宅供給対象地域) 九州内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひご木の家づくりネットワーク	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0624-0696	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

<認定低炭素住宅>

- 1). 様式3-1～-3のグループ共通ルールを適用する。
- 2). 高効率給湯器を使用する。
- 3). 住宅版BELS★3以上を取得する。

<性能向上計画認定住宅>

- 1). 様式3-1～-3のグループ共通ルールを適用する。
- 2). 高効率給湯器を使用する。
- 3). 住宅版BELS★3以上を取得する。

<ゼロ・エネルギー住宅>

- 1). 様式3-1～-3のグループ共通ルールを適用する。
- 2). 高効率給湯器を使用する。
- 3). 住宅版BELSを取得する。

<優良建築物>

- 1). 様式3-1～-3のグループ共通ルール内の様式3-2 ウ a欄と様式3-3 オ c欄は除外する。